

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図る。とりわけ、将来を担う子育て世代等若い人(現役世代)の参加を促進する。		
	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	185,000円
②	視点	地区住民同士やSL乗客等他地区住民との交流促進を図るため「SLやまぐち号」の停車駅であるJR山口駅において「やまぐちえき」応援おもてなしイベントを開催する。		
	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	213,201円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れる事により、郷土愛を育み、以って地域住民の連帯感や絆を深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	152,604円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中での活動となったが、専門部会や実行委員会を開催し、地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図った。 子ども会育成会や白石小中PTAの子育て世代等現役世代が参加し、連携が図れた。今後も地域づくり活動への参加意識の喚起・触発等啓発活動を推進し、地域づくりに関わる地域住民の増加を図っていく。また、商店街、市民活動団体等との連携を強化、子育て世代等現役世代の参加を促進しながら、地域活動を行っていく。	△
②今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中での活動となったが、山口駅構内待合室において「白石ご当地自慢写真展」、観光ボランティア「てくてくウォーキング」を実施した。 更に、新事業として、駅通りいちょう並木にイルミネーションの飾り付けをした。また感染防止対策を徹底したうえで、SLやまぐちクリスマス号のおもてなし活動を行った。今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設、イルミネーションを利用したイベントについては地域・山口駅・その他の方々の話し合いを重ねてより充実させていき、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。 なお、イベント開催時における「駅カフェ」の運営を充実し、地区住民同士や他地区住民交流の場として積極的に活用する。	△
③【ほたるまつり】【祇園祭】【山口七夕ちょうちんまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となった。 コロナ禍の中、8月6日に子ども会育成会が主体となって、親子ミニちょうちんまつり(願事短冊の飾付)を開催した。 親子合わせて181名、育成会4名、子ども会スタッフ5名、白石小・中PTA15名、ちょうちん部隊13名、設営・運営スタッフ9名、総勢227名の参加があった。 親子参加者にチェックシートを事前配布し当日回収、また検温・消毒を参加者・スタッフ全員が行い感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく無事に終了した。 事前会議を行い、流れを確認したことから、当日準備、お祭り、片付けがスムーズに行われた。 今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。	△

4 総括

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から止む無く、地域課題解決の手段としての事業を中止または縮小せざるを得なかった。
今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,631,913円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 独自開発した会計管理システムの運用により、適正な資金管理(財務会計業務)ができた。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	185,000円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会、実行委員会等運営態勢を構築する。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 117人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が88%となり、昨年(89%)と比較して1%減少した。 また、参加人数が117名となり、昨年と比較して4名(4.3%)減少した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のために実施する事業の情報を地域住民同士が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。</p>

事業名	広報事業
事業費	1,175,350円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、フェイスブック投稿</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 3人</p> <p>(成果) 広報誌全戸配布12回、ウェブサイト更新12回、フェイスブック投稿6回</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行、HPを適宜更新、フェイスブックを活用するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページを適宜更新し、情報発信チャンネルを強化する。とりわけ、フェイスブックについては情報提供回数を増やし内容を充実させ、とりわけ現役世代の若い人たちへ地域づくり活動状況をタイムリーに発信する。 また、若い世代を中心とした広報委員会の創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	213, 201円
事業概要	<p>(実施内容) JR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング、JR山口駅構内待合室において写真展、SLクリスマス号のおもてなしを開催。 また新たな取組として、山口駅通りのイチヨウの木にイルミネーションの飾り付けをした。</p> <p>(実施時期) 令和3年6月、10月、12月、3月</p> <p>(参加人数) 14人(実行委員会メンバー)</p> <p>(成果)JR山口駅構内待合室で「白石ご当地自慢写真展」を開催、「クリスマスは山口から」をテーマに駅通りのいちょうの木にイルミネーションを飾り付け、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。</p> <p>(評価)山口駅構内待合室における「白石ご当地自慢写真展」では主に山口駅利用客等他地区住民の皆さんへ「ちょうちん祭り」、「山口祇園祭」等伝統文化や明治維新に関わる名所旧所など白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。 観光ボランティア「てくてくウォーキング」では白石歴史探訪の会とコラボ開催し、参加者と交流を深めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設、クリスマスイルミネーションの飾り付けについてはJR山口駅前ロータリーにおいて実施する。 6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。 白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から縮小開催となった。

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	30, 000円
事業概要	<p>(実施内容)今市町内会福部童子祭</p> <p>(実施時期) 令和3年8月25日・26日</p> <p>(参加人数)80人</p> <p>(成果)規模縮小ではあったが、子どもからお年寄りまでの世代交流ができた。</p> <p>(評価)年初計画のとおり、5町内会における親睦会開催を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4町内会は中止となり、今市町内会のみ実施した。</p> <p>(今後に向けて) 今後については高齢化、世帯の減少等で継続が難しくなりつつあり、隣接した町内会で共催を働きかけ、交流の場としたい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	152,064円
事業概要	<p>(実施内容) 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、【ほたるまつり】、【祇園祭】、【ちょうちんまつり】が中止となった。 8月6日に子ども育成会を中心に、親子ミニちょうちん祭りを白石地域交流センターで実施した。</p> <p>(実施時期) 令和3年8月6日</p> <p>(参加人数) 227人(スタッフ延人数)</p> <p>(成果) 親子参加者にチェックシートを事前に配布し、当日回収、また参加者・スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく、無事に終了した。</p> <p>(評価) 事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、子育て世代を対象とした、親子で参加できる楽しい事業を企画する。</p>

(3) 地域福祉

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	62,467円
事業概要	<p>(実施内容) 参加者の希望者に活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月1回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を体感してもらう事業を展開した。</p> <p>(実施時期) 令和3年10月、11月、12月、令和4年1月、3月</p> <p>(参加人数) 23人</p> <p>(成果) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、順延しつつも全日程を終えることができた。今年度は活動量計を希望者(新規参加者6名)に貸出した。 今年度も社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を行い、安定した事業展開が図られた。</p> <p>(評価) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、ロコミでの募集が減り、チラシやポスターに頼った広報となり、効果が薄かった。本活動の良さを伝え切れなかった。</p> <p>(今後に向けて) 運動に関するプログラムの内容をより充実させ、参加したくなるような楽しい企画を検討していく。本事業の楽しさを伝える声かけを行い、とりわけ若い世代の参加者を増やしていく。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	57,561円
事業概要	<p>(実施内容) 生涯骨太クッキングをテーマに講話と展示を行った。食育の日に交流センターロビーにおいて、健康食のフードモデルを展示し、来所者にレシピを配布した。減塩食レシピを広報誌へ2回掲載した。</p> <p>(実施時期) 令和3年10月、11月、令和4年1月</p> <p>(参加人数) 17人</p> <p>(成果) 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、食育活動が制限されたが、食育の日として、交流センターのロビーでサンプルの展示等啓発活動を行った。また、生涯骨太クッキングは講話と展示を行ったところ、好評だった。</p> <p>(評価) 食育の日におけるサンプルの展示、広報誌へのレシピ掲載、講座開催により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理の提案を行い、健康食に対する啓発ができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、減塩料理、生涯骨太を目指したクッキングに加え、郷土料理の調理実習を実施し、広報誌に健康食レシピを掲載紹介、健康に役立つ料理教室など幅広く行う。また、ロコミによる料理教室等の開催情報の周知に努め、参加者の増加を図る。更に、子育て世代の方にも安心して料理教室に参加してもらえるよう、託児所を開設し、PRをしていく。より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で、料理教室の開催をする。毎月19日は「食育の日」として、交流センターのロビーにおいて健康食のサンプル展示を継続していく。</p>

事業名	グラウンドゴルフ参加促進
事業費	52,488円
事業概要	<p>(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和3年7月、10月、11月</p> <p>(参加人数) 57人(実行委員会メンバー30人)</p> <p>(成果) 今年度は、春季、秋季、地域づくり協議会会長杯の3大会を開催した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 今年度は実行委員会の会員数が増加しなかった。新規参加者がなかった。</p> <p>(今後に向けて) 今年度参加がなかった、初心者向けの講習会、親子交流戦を来年度は内容を充実させて参加者増に繋げていきたい。今後も月例大会を月に1度実施し、交流を図ってきたい。</p>

事業名	むかし遊び
事業費	3,780円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。</p> <p>(実施時期) 12月1日(水)</p> <p>(参加人数) 39人(実行委員会メンバー6人)</p> <p>(成果) 昨年の参加者に案内ハガキを送付、また民生・児童委員や各部会での声掛けをした。他の事業と重なった為、昨年より参加者は減少したが、39名の参加者があった。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。遊ぶ時間を確保する為、かるた、お手玉、羽根つきは中止となったが、他の種目は例年通り行った。</p> <p>(評価) 他の事業と重なり、参加人数は昨年より減少したが、福祉部会員、民生児童委員、近隣住民の協力があり、スムーズに運営できた。子ども達も全部の種目で遊ぶことができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も引き続き、参加者に案内ハガキを送付、声掛けを実施し参加者を募る。種目毎の場所、人員等を再度検討する。また種目によっては時間調整が必要になるため、方法を協議していく。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置等
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。</p>

事業名	自主防災活動参加促進
事業費	208, 553円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 山口県自主防災アドバイザー養成研修の受講により新たに認定自主防災士を養成する。</p> <p>(実施時期) 令和3年5月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 30名</p> <p>(成果) 今年度新たに3名が認定自主防災士となり、白石地区の認定自主防災士は30名となった。 また山口市から田町町内会が白石地区4番目の自主防災組織として認定された。 令和4年3月6日(日)に9町内(上清水、中讃井、西門前・新橋、荒高、米屋町商店会、東白石、東糸米、田町、ツインタワー黄金町)が黄色いたスキの安否確認訓練を行い、520世帯が参加した。防災イベントでは起震車による地震体験や非常食の提供を行い、防災意識向上の一助となった。</p> <p>(評価) 市認定防災組織認定町内会、認定自主防災士の増加や実行委員会を定例開催(毎月1回)するなど運営態勢が充実した。</p> <p>(今後に向けて) 単位町内会を対象として、地区自主防災士による防災講座を開催。 市認定防災組織認定町内会、認定自主防災士の単位町内会における自主防災組織の認定を支援する。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ実施
事業費	53, 550円
事業概要	<p>(実施内容) 給水訓練、バケツリレー、着衣水泳</p> <p>(実施時期) 令和3年7月31日</p> <p>(参加人数) 29人</p> <p>(成果) 昨年度は新型コロナウイルス感染症対策防止のため中止となり、今年度もコロナの感染リスクのある中、リスクの高い飲食を避けるため、午前中のみの内容で感染防止対策をしっかりと図った上で、デイキャンプを実施した。</p> <p>(評価) 今回の体験も含め、家庭で話をしてもらうきっかけとして、各家庭での災害への備え用にアルファ米やLEDライトなどを持ち帰ることにより、子ども達のみならず各家庭での防災意識の向上になった。</p> <p>(今後に向けて) 参加対象を4年生まで広げたものの、目標まで及ばなかったが、近隣の事業やコロナの感染リスクもある中でやむを得ない状況だった。 来年度もコロナの感染状況を注視し学校と協議の上、引き続き事業を進めていく。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	30,000円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 41人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) パトロール要員が昨年と比較して4名増となった。協力のおかげで児童の事件事故の被害事案はなかった。 また今年度は子ども達に飛び出し禁止の注意喚起をする人形(とびだしくん)を危険と思われる箇所に8体設置し、交通事故防止のための環境整備を行った。</p> <p>(今後に向けて) より安心・安全な町づくりのために、地域の広報誌等を通じて、パトロール要員の増員を図っていき、参加人員の確保・拡大をしていきたい。</p>

(5)環境づくり

事業名	環境美化・保全活動推進
事業費	63,270円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川における草刈等清掃活動による環境美化・保全活動</p> <p>(実施時期) 令和3年9月19日</p> <p>(参加人数) 50名</p> <p>(成果) 五十鈴川の美化・保全が図れた。</p> <p>(評価) 年初計画では8/29に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、9/19へ変更した。白石小・中PTA、教員、東糸米町内会等近隣町内会から50名の参加があり白石小・中学校前の五十鈴川清掃活動を行った。中学生の不参加で草木集積作業等、多少負担が増したが作業効率の向上を図り、事故無く終了した。 また、上流部である附属小学校前のエリアにおける清掃については12月19日に10名で下刈、12月22日に附属中学校生徒をメインに近隣町内会で実施した。</p> <p>(今後に向けて) 五十鈴川の清掃作業にとどまらず、錦川や一の坂川などの清掃も視野に入れ、環境美化・保全活動の深化・拡大を目指す。</p>

(6)地域個性創出

事業名	白石歴史探訪の会
事業費	194, 243円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載。講師(ガイド)による史跡巡りを実施。</p> <p>(実施時期) 令和3年6月～令和4年3月</p> <p>(参加人数) 講演会164人、史跡巡りウォーク37人(延べ人数)</p> <p>(成果) 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を受け、講演会の日程変更があったが、すべて計画通り実施できた。講演会・広報誌へのコラム掲載・史跡巡りにより幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。</p> <p>(評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。今年度は歴史民俗資料館の学芸員を講師に招いて講演会を開催し、山口のお祭りや歴史に触れることができた。講演会は6回、史跡巡りウォークは2回開催し講師によるガイドの下、より深く知ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度は、新たな講師の発掘及び、参加者をどのように増やしていくか、実行委員会で協議を重ねていく。コラム掲載、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングも引き続き実施、新たにバスツアーも実施し、地域だけでなく、より広く文化、史跡・名所等に触れる機会を充実させていく。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください